

## 大野市南六呂師におけるマルガタゲンゴロウの記録

大宮正太郎\*1

要旨：筆者は2020年5月27日に大野市南六呂師でマルガタゲンゴロウ1♂を採集した。

キーワード：昆虫, コウチュウ目, ゲンゴロウ科

Shotaro OMIYA\*1. 2021. A record of *Graphoderus adamsii* (Clark) in Minamirokuroshi, Ono-shi, Fukui prefecture, Japan. *Ciconia (Bulletin of Fukui Nature Conservation Center)* 24:29-30.

*Graphoderus adamsii* (Clark) was collected in Minamirokuroshi, Ono-shi, Fukui Prefecture, Japan, on May 27<sup>th</sup>, 2020.

**Key words:** Insect, Coleoptera, Dytiscidae

マルガタゲンゴロウ *Graphoderus adamsii* (Clark) (以下, 「本種」) は, コウチュウ目ゲンゴロウ科 (Coleoptera: Dytiscidae) に属する中型のゲンゴロウ類で, 和名のとおり丸い卵形の体型をしている (図1). 国外では朝鮮半島, 中国などに分布し, 国内では北海道, 本州, 四国, 九州に分布する (森・北山2002). 水質の良好な水域で見られるが, 全国的な生息状況の変化により, 2020年版環境省レッドリストでは「絶滅危惧II類 (VU)」とされている (環境省2020).

福井県においては, 本種は高浜町, 越前市, 勝山市, 大野市で確認されているが, 確実な生息地は数カ所にすぎないとして「改訂版 福井県の絶滅のおそれのある野生動植物」(福井県レッドデータブック) では「県域絶滅危惧I類」とされている (福井県安全環境部自然環境課編2016). 福井県の隣接府県のレッドデータブックにおいては, 石川県では「絶滅危惧I類」(石川県野生動物保護対策調査会2020), 滋賀県では「絶滅危機増大種」(滋賀県生きもの総合調査委員会編2016), 京都府では「絶滅危惧種」(京都府自然環境保全課編2015)とされており, いずれの地域でも今後の環境変化によって生息が危ぶまれる種とされている. なお, 岐阜県では掲載はない (岐阜県2010).

本種の生息は局所的で, ある産地での絶滅はその地域全体での絶滅に繋がるおそれがあるため, その生息状況については正しく把握しておく必要がある. 筆者は今回, 本種を大野市南六呂師で採集したので次のとおり報告する.

1♂, 福井県大野市南六呂師 福井県自然保護センター 自然観察の森 馬取池, 2020年5月27日, 筆者採集・福井県自然保護センター 保管.

福井県自然保護センターの自然観察の森内にある馬取池は周囲を木々に囲まれた水深の浅い池で (図2), 池内にはカンガレイ *Schoenoplectiella triangulata* Roxb.を主とする抽水植物が生育しており, キイトトンボ *Ceriagrion melanurum* Selys やオオルリボシヤンマ *Aeshna crenata* Hagen などのトンボ類の他, ヒメゲンゴロウ *Rhantus suturalis* (Macleay)やクロゲンゴロウ *Cybister brevis* Aubé, オオコオイムシ *Appasus major* (Esaki), マツモムシ *Notonecta triguttata* Motschulsky などの水生昆虫, モリアオガエル *Rhacophorus arboreus* (Okada et Kawano) やアカハライモリ *Cynops pyrrhogaster* (Boie)などの両生類が生息している.

馬取池では過去にも本種の記録があり (松村1993), 当地における現在までの本種の生息状況の変化は少ないと考えられる. しかしながら, 馬取池の水の供給源としては周辺からの雨水が流入するのみで, 晴天が続くとほとんど水が無くなり一時的に渇水状態になったりする一方で, 大雨が降るとすぐに満水状態になったりするなど, 気候の影響を受けやすく水位変動が激しい池であることから, 今後の世界的な気候の変化の方向性によっては, 池の環境が本種の生息に適さなくなってしまう可能性がある. 本種の保全のためには, 本種の生存に影響する緊急事態をいち早く把握できるように, 当地における継続的な生物相モニタリングの実施が必要である.

\* 連絡・別刷請求先 (Corresponding author) E-mail: s-oomiya-ov@pref.fukui.lg.jp

1 福井県自然保護センター 〒912-0131 福井県大野市南六呂師 169-11-2

Fukui Nature Conservation Center. Minamirokuroshi 169-11-2, Ono, Fukui 912-0131, Japan.

## 引用文献

福井県安全環境部自然環境課(編). 2016. 改訂版 福井県の絶滅のおそれのある野生動植物. 福井県安全環境部自然環境課, 福井.

岐阜県. 2010. 岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)改訂版-岐阜県レッドデータブック(動物編)改訂版-. <https://www.pref.gifu.lg.jp/page/4261.html> (参照日 2020年12月20日).

環境省. 2020. 環境省レッドリスト 2020 の公表について. <http://www.env.go.jp/press/107905.html> (参照日 2020年12月20日).

京都府自然環境保全課(編). 2015. 京都府レッドデ

ータブック 2015 第1巻:野生動物編. 京都府自然環境保全課, 京都.

石川県野生動物保護対策調査会. 2020. 石川県の絶滅のおそれのある野生生物 いしかわレッドデータブック 2020<動物編>. 石川県生活環境部自然環境課, 金沢.

松村俊幸. 1993. 福井県六呂師高原の水生昆虫相 I. Ciconia (福井県自然保護センター研究報告) 2:19-24.

森 正人・北山 昭. 2002. 改訂版 図説 日本のゲンゴロウ. 文一総合出版, 東京.

滋賀県生きもの総合調査委員会(編). 2016. 滋賀県で大切にすべき野生生物:滋賀県レッドデータブック 2015年版. 滋賀県自然環境保全課, 大津.



図1. マルガタゲンゴロウ♂ (大野市南六呂師, 2020年5月27日, 筆者採集・福井県自然保護センター保管)



図2. 大野市南六呂師 自然保護センター「自然観察の森」内にある「馬取池」(2020年5月13日, 筆者撮影)